

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年8月8日
【四半期会計期間】	第39期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
【会社名】	株式会社ジャストシステム
【英訳名】	JUSTSYSTEMS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 関灘 恭太郎
【本店の所在の場所】	徳島県徳島市川内町平石若松108番地4 (同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。)
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿6丁目8番地1号 住友不動産新宿オークタワー
【電話番号】	03(5324)7900(代表)
【事務連絡者氏名】	経営企画室長 重田 裕史
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第38期 第1四半期連結 累計期間	第39期 第1四半期連結 累計期間	第38期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	6,713,521	9,457,587	28,646,705
経常利益 (千円)	2,176,300	4,162,178	7,694,930
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	1,565,812	2,723,180	6,210,375
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,557,314	2,720,888	6,190,607
純資産額 (千円)	37,709,744	44,549,592	42,149,947
総資産額 (千円)	49,876,089	55,937,536	50,029,527
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	24.38	42.40	96.70
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	75.6	79.6	84.3

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、企業収益や雇用情勢の改善が続き、個人消費の持ち直しや設備投資の増加により、緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況下において、当社グループは、高機能で付加価値の高い新商品・サービスを提供することにより、既存ビジネスによる安定した収益を基盤としつつ、個人向け・法人向けともに売上高の拡大に向けた提案力の強化や、新たな収益の柱となる新商品・サービスの企画、開発に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は94億57百万円（前年同期比40.9%増）、営業利益は41億40百万円（前年同期比93.6%増）、経常利益は41億62百万円（前年同期比91.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億23百万円（前年同期比73.9%増）となりました。当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益は、いずれも株式上場以来の最高益となりました。

当社はソフトウェア関連事業の単一セグメントであります。個人向け・法人向けに分類すると、個人向け事業の売上高は54億52百万円（前年同期比22.0%増）、法人向け事業は40億5百万円（前年同期比78.3%増）となりました。自治体等におけるICT環境の整備やパソコンの更新需要が拡大し、関連ソフトウェアの導入が順調に進みました。

財政状態の分析

（資産の部）

資産合計は、前連結会計年度末比59億8百万円増加の559億37百万円となりました。これは現金及び預金が79億68百万円、受取手形及び売掛金が12億22百万円増加したこと、有価証券が30億円減少したことなどが主な要因です。

（負債の部）

負債合計は、前連結会計年度末比35億8百万円増加の113億87百万円となりました。これは前受収益が29億86百万円、未払法人税等が10億73百万円増加したこと、買掛金が5億50百万円、未払金が8億66百万円減少したことなどが主な要因です。

（純資産の部）

純資産合計は前連結会計年度末比23億99百万円増加の445億49百万円となりました。これは利益剰余金が24億2百万円増加したことなどが主な要因です。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、78百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	66,163,200
計	66,163,200

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	64,224,800	64,224,800	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	64,224,800	64,224,800	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日	-	64,224,800	-	10,146,515	-	5,355,754

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 64,219,100	642,191	-
単元未満株式	普通株式 5,000	-	-
発行済株式総数	64,224,800	-	-
総株主の議決権	-	642,191	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が600株含まれており、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数6個が含まれております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(株)ジャストシステム	徳島県徳島市川内町 平石若松108番地4	700	-	700	0.00
計	-	700	-	700	0.00

(注)当第1四半期会計期間において単元未満株式を取得したことにより、当第1四半期会計期間末日現在の自己株式数は735株となっております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,446,723	30,414,871
受取手形及び売掛金	3,334,957	4,557,426
有価証券	9,400,000	6,400,000
商品及び製品	638,840	643,199
原材料及び貯蔵品	769,026	966,404
前払費用	2,896,223	2,715,672
その他	635,625	365,828
貸倒引当金	39,511	32,712
流動資産合計	40,081,884	46,030,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,732,036	2,699,477
土地	3,569,077	3,569,077
その他(純額)	108,705	103,293
有形固定資産合計	6,409,819	6,371,848
無形固定資産		
ソフトウェア	2,283,728	2,539,979
ソフトウェア仮勘定	462,887	212,440
その他	1,222	1,152
無形固定資産合計	2,747,838	2,753,571
投資その他の資産		
投資有価証券	57,951	53,436
その他	922,239	918,193
貸倒引当金	190,204	190,204
投資その他の資産合計	789,985	781,424
固定資産合計	9,947,643	9,906,845
資産合計	50,029,527	55,937,536

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,223,766	673,602
未払金	1,636,693	769,966
未払法人税等	459,068	1,532,501
前受収益	3,612,800	6,598,811
賞与引当金	323,265	658,436
返品調整引当金	38,886	119,636
その他	452,168	909,093
流動負債合計	7,746,649	11,262,047
固定負債		
退職給付に係る負債	108,103	100,496
その他	24,827	25,398
固定負債合計	132,930	125,895
負債合計	7,879,580	11,387,943
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,146,515	10,146,515
資本剰余金	12,293,972	12,293,972
利益剰余金	19,775,440	22,177,500
自己株式	1,065	1,188
株主資本合計	42,214,862	44,616,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,786	7,380
為替換算調整勘定	93,554	92,445
退職給付に係る調整累計額	18,854	17,858
その他の包括利益累計額合計	64,914	67,206
純資産合計	42,149,947	44,549,592
負債純資産合計	50,029,527	55,937,536

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 6 月30日)
売上高	6,713,521	9,457,587
売上原価	2,145,092	2,377,415
売上総利益	4,568,429	7,080,172
販売費及び一般管理費	2,429,132	2,939,464
営業利益	2,139,296	4,140,707
営業外収益		
受取利息	8,528	11,810
受取配当金	519	582
為替差益	15,538	-
受取賃貸料	7,431	7,574
その他	7,784	13,935
営業外収益合計	39,802	33,902
営業外費用		
為替差損	-	9,790
賃貸費用	794	520
その他	2,004	2,121
営業外費用合計	2,798	12,432
経常利益	2,176,300	4,162,178
特別損失		
投資有価証券評価損	-	1,047
特別損失合計	-	1,047
税金等調整前四半期純利益	2,176,300	4,161,130
法人税、住民税及び事業税	610,488	1,437,949
法人税等合計	610,488	1,437,949
四半期純利益	1,565,812	2,723,180
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,565,812	2,723,180

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,565,812	2,723,180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	522	2,405
為替換算調整勘定	4,620	1,109
退職給付に係る調整額	3,354	995
その他の包括利益合計	8,497	2,291
四半期包括利益	1,557,314	2,720,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,557,314	2,720,888

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	472,988千円	584,503千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月21日 定時株主総会	普通株式	192	3	2018年3月31日	2018年6月22日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月25日 定時株主総会	普通株式	321	5	2019年3月31日	2019年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ソフトウェア関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益	24円38銭	42円40銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,565,812	2,723,180
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	1,565,812	2,723,180
普通株式の期中平均株式数(株)	64,224,262	64,224,091

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月8日

株式会社ジャストシステム

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 神代 勲 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 川口 泰広 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ジャストシステムの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ジャストシステム及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。